

令和6年度事業報告

一般財団法人矢掛町観光交流推進機構

事業報告書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日)

【概要】

国は観光による交流人口の拡大が地域活性化に重要な要素であると考え、また、多様な産業に関連する観光を成長戦略の柱と位置付けている。さらに、観光を通じて地域住民が自らの地域に誇りと愛着を感じることは地域社会の持続可能な発展を可能にするとともに、観光を通じて異文化を尊重し、世界の人々と交流することは外交や安全保障を支え、国際社会の自由、平和、繁栄の基盤を築く国際相互理解を増進するものとしている。町内においては、新型コロナウイルス感染症の流行により、観光事業者は甚大な影響を受けながらも、国や矢掛町の支援と自助努力により事業を維持し、観光を通じた交流人口の拡大を持続した。こうした状況の中で、矢掛商店街を中心としたまるごと道の駅と分散型ホテル構想の下、観光客の満足度を高め、さらなる誘客につなげるとともに道の駅から商店街への誘客、さらに町内全域への誘客に向けた魅力ある観光環境の整備と魅力づくりが直近の課題となっている。

一般財団法人矢掛町観光交流推進機構は、こうした社会情勢をとらえ、町内の多様な観光資源の魅力を最大限に活用した観光事業を積極的に推進した。さらに、矢掛町の観光の核となる矢掛商店街を中心とした「まるごと道の駅」への誘客促進と町内の多様な魅力についての情報発信を実施した。

公益事業として、観光情報拡散事業では、ホームページ、SNS、アプリ等による情報発信をした。ラジオは毎月2本、テレビも2番組出演。また、デジタルマップを活用し、来訪者の周遊を図った。「矢掛の宿場まつり大名行列」をテレビ局と連携し、町内外への情報発信としてイベント当日だけでなく、一定期間周知しながら継続的に情報発信を行った。さらに、大阪で開催された観光商談会に参加し、旅行者等へ町の魅力、観光施設などのPRを行った。情報発信イベント事業では、町内への誘客及び町内の活性化を促進するため「やかげキッズフェスティバル」を企画実施し、矢掛中、矢掛高校生徒及び岡山大学学生、環太平洋大学生約60名にボランティアとして協力していただき運営した。2日間で約6,700名を誘客した。また、商店街の活性化を促進するため、商店街にある空き家や空き店舗を活用してアート作品やクラフト作品を展示販売する「やかげ作家さんぽ」を企画実施し、2日間で約2,000名を誘客した。さらに、町の知名度向上及び誘客促進を図ることを目的にマツダスタジアムで「わがまち魅力発信隊プロモーション」を実施し、町内団体の出店や大型ビジョンでのPRを行い、約500名がブースに来場した。町と沖縄県金武町がフレンドタウンシップ協定を締結したことにもともない、両町の親睦とPRをするため金武町まつりで特産品の販売やパンフレット等を配布した。約1,000名がブースに来場した。また、やかげ郷土美術館と連携し「判じ絵展」のクイズラリーを開始し、約400名の応募があった。観光情報誌発行事業では、町内の観光情報を毎月広報やかげへ封入及び観光施設等への設置を行った。また、観光客向けの観光みどころマップ、お食事どころ・おみやげマップを作成し観光客等へ配布した。ガイド育成事業では、観光ボランティアの会23名が出席しスキルアップを目的に接遇研修を行った。観光実態調査事業では、水車の里、町家交流館、道の駅山陽道やかげ宿に観光客及び観光事業者等に継続してアンケート調査を行い、観光ニーズを分析した。

誘客イベント事業では、道の駅開業から開催している「やかげ華まつり」を開催し、花の作品展示ややかげ西町イベントでのステージイベント、別会場では備中神楽の演舞や矢掛商店街を

周遊するスタンプラリーも行い、約5,500名を誘客した。町内企業連携商品開発では、矢掛中学校と連携し、中学生が考案した商品を商品化し矢掛中学校のイベントで発表した。

特産品開発事業では、矢掛町のイメージ戦略として「クリームソーダ」を素材に若者等の集客を目的としたキャンペーンを企画し、飲食店18店舗と協働で実施した。キャンペーン期間を約1カ月間とし、約8,500名を誘客した。また、秋には「さつまいも」を素材に飲食店と連携して、キャンペーンを企画し、飲食店23店舗と協働で実施した。キャンペーン期間を約3カ月間とし、約6,500名を誘客した。さらに、矢掛町の新たなお土産品の1つとして矢掛町で栽培したお米を使った日本酒の開発を行った。

多言語化事業では、(株)やかげ宿と連携し、やかげ宿が開催しているインターナショナルフェスティバルのチラシや折り込み印刷を行い周知するとともに、外国人にアンケート調査を行い意見の集約を行った。インバウンド魅力化事業では、矢掛町合併70周年記念茶会と連携し、岡山大学の留学生を対象としたモニターツアーを企画実施し、外国人の受入体制の整備、外国人向け観光コンテンツのブラッシュアップを実施した。

収益事業としては、矢掛ビジターセンター問屋の指定管理を受託し、施設の維持管理を行いながら道の駅山陽道やかげ宿と連携した情報発信や観光客を商店街や町内の観光スポットへ誘客した。

アルベルゴ・ディフーズ(分散型ホテル)や古民家再生事業、まるごと道の駅や重伝建選定による観光の取組状況等についての視察受入を行った。

【重点業績評価指標（K P I）】

K P I		2018 年度 実績	2019 年度 実績	2020 年度 実績	2021 年度 実績
延べ宿泊者数（人）		6,629	6,869	6,184	5,982
観光入込客数（人）		296,656	334,498	275,645	524,024
観光消費額（円）	日帰 観光客	2,157	2,356	2,436	2,366
	宿泊 観光客	19,794	17,922	20,273	18,951
リピーター率（%）		56.95	64.70	70.95	68.67
観光客満足度（%）		77.25	84.00	86.16	86.63
WEBサイト アクセス件数（件）		161,138	167,292	150,332	160,029

K P I		2022 年度 実績	2023 年度 実績	2024 年度 目標	2024 年度 実績（速報値）
延べ宿泊者数（人）		7,556	6,704	6,905	7,930
観光入込客数（人）		554,567	581,411	598,853	554,709
観光消費額（円）	日帰 観光客	2,744	2,611	2,689	2,042
	宿泊 観光客	17,777	24,833	25,578	17,410
リピーター率（%）		69.25	65.40	65.00	68.90
観光客満足度（%）		90.05	93.46	86.00	93.30
WEBサイト アクセス件数（件）		159,374	48,706	50,167	172,119

※延べ宿泊者数＝矢掛屋宿泊者数+備中屋宿泊者数+蔵 INN-KAMON 宿泊者数+蔵 INN-KURABI 宿泊者数

※観光入込客数＝岡山県報告数値（暦年）

※観光消費額＝アンケート調査から算出した額

※リピーター率＝アンケート調査から算出した数値

※観光客満足度＝アンケート調査から算出した数値

※WEBサイトアクセス件数＝矢掛町観光ホームページアクセス件数

矢掛町観光ホームページは令和6年3月31日をもって、DMOの観光ホームページ「Your Home Town-Yakage-」に1本化されたため、

2023年度からのWEBサイトアクセス件数はDMOの観光ホームページのアクセス件数となっています。

1. 観光情報発信強化事業

(1) 観光情報発信強化事業

町、県、株式会社やかげ宿、やかげまるごと商店街振興会等と矢掛町の情報発信等について意見交換・情報共有を行った。

(2) 観光情報拡散事業

・観光ホームページ、SNS、アプリ等による情報発信

ホームページ等を活用し、矢掛町における観光情報を発信した。また、プラチナマップや SNS (Facebook, Instagram, Twitter 等) を活用し、情報発信を行った。

・テレビ・ラジオ等による情報発信

観光情報等についてメディアを通じて発信を行った。実施内容は次のとおり。

会社名等	区分	番組名称等	内容	放送時期等
山陽放送 (RSK)	AM ラジオ	あもーれ!マッタリーノ	矢掛町の旬な話題	毎月1回(全12回) 第4木曜16時頃～
岡山シティエフエム (レディオモモ)	FM ラジオ	街ブラ RADIO Your Home Town やかげ (おはよう矢掛通信)	矢掛町の旬な話題	毎月1回(全12回) 第1土曜9時～9時30分
岡山放送 (OHK)	テレビ	ミルンヘカモン! なんしょ ん?	矢掛の宿場まつり大名行 列	令和6年10月31日(木) 16時30分頃～
山陽放送 (RSK)	AM ラジオ	あもーれ!マッタリーノ	やかげ華まつり	令和7年3月21日 9時40分頃～
山陽放送 (RSK)	テレビ	ライブ5時いまドキッ	やかげ華まつり	令和7年3月21日 17時頃～

矢掛商店街及び町内全域への周遊促進のためスマートフォン等で閲覧可能なデジタルマップ(プラチナマップ)を活用し、来訪者の周遊を図った。

【プラチナマップビュー数・利用者数】

ビュー数 約40,000回

利用者数 約16,500名

また、「矢掛の宿場まつり大名行列」と連携して、町内への誘客と知名度向上を目的にイベントチラシやポスターの作成配布やテレビやSNS等での情報発信を行った。

【チラシ作成】

14,500枚

【テレビCM】

14本

2月18日（火）に大阪で開催された晴れの国おかやま観光商談会に参加し、旅行会社等観光関係者へ矢掛町の魅力・観光施設・見どころ等のPRを行った。

また、第二部である観光プレゼンテーションでは矢掛町の特産品であるリーキ・イチゴのPRを含む観光プロモーションを矢掛町ブースに来場した観光関係者へ行い、矢掛町の魅力発信に努めた。



(3) 情報発信イベント事業

矢掛商店街及び矢掛町全体がまるごと道の駅という構想により、町内への誘客及び町内の活性化を促進するため「やかげキッズフェスティバル」を企画実施した。矢掛町総合運動公園を会場にし、町内外の小学生以下の子供をターゲットとして子供が楽しめる内容のイベントを検討し、開催日数も2日間に設定し実施した。

また、矢掛中学校、矢掛高校の生徒及び岡山大学、環太平洋大学の学生約60名にボランティアとして協力していただき運営した。SNS等を活用し、矢掛町の情報発信に努め、多くの来場者をもたらし、同時に矢掛商店街等のPRも行い町内の周遊促進を行った。

【実施日】令和6年9月28日・29日【来場者数】約6,700名（2日間）





また、町内外からの誘客と道の駅山陽道やかげ宿から矢掛商店街に観光客を誘導し、商店街の活性化を促進するため、商店街にある空き家や空き店舗を活用してアート作品やクラフト作品を展示販売する「やかげ作家さんぽ」を企画開催した。さらに、手作りの豆経本やアクセサリが作れるワークショップを開催することで子供から大人まで体験を通じてイベントを楽しんでいただきながら、滞在時間の延長に努めた。

【実施日】

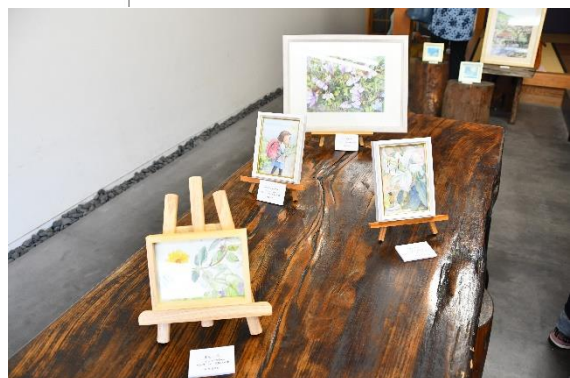
令和6年10月5日～6日（2日間）

【出店数】

20店舗

【来場者数】

約2,000人





矢掛町の知名度向上及び誘客促進を図ることを目的とし、プロ野球公式戦が開催されるMAZDA ZOOM-ZOOM スタジアム広島で「わがまち魅力発信隊プロモーション」を実施し、町内の団体出店や大型ビジョンでのPRを行った。

また、冊子を配布したり、ガラポンを実施し、町の特産品を広くPRし、町の魅力発信に努めた。

【実施日】

令和6年9月20日

【出店数】

3店舗

【ブース来場者数】

約500人

【事業者様へ】

広島県内で出展希望していませんか？

広島東洋カープ「わがまち魅力発信隊」出店者募集について。

■矢掛町とDMOが、9月20日(金)にマツダスタジアム(対巨人戦)で共同出店を行います！
球場ブースで商品の販売をしてみませんか？
出店料や手数料は無料です！
※交通費・人件費等については、負担いただきます

【イベント概要】※詳細は、「注意事項【物販飲食】」を確認ください
・開催日：令和6年9月20日(金) 15時～20時30分
・開催場所：Mazda Zoom Zoomスタジアム広島
・対象商品：地域性のある商品(調理可)
※酒・アルコールが含まれる商品は不可です
※鮮なる車載さ・フライングペット等は不可です

【申込方法】
「参加希望」と記入の上、本メールに返信をお願いします。

【応募期日】
令和6年8月22日(木)正午

【問い合わせ先】
矢掛町 産業観光課
担当：山本
TEL：0864-82-1016
mail：k-zoomtoftown.yakage.lg.jp



町と沖縄県金武町が2024年7月にフレンドタウンシップ協定を締結し、両町の親睦と矢掛町のPRをするため、金武町まつりで特産品の販売やパンフレット等の配布を行った。

今後も両町の親睦及びPRを継続的に行っていく。

【実施日】令和6年10月19日～20日（2日間）

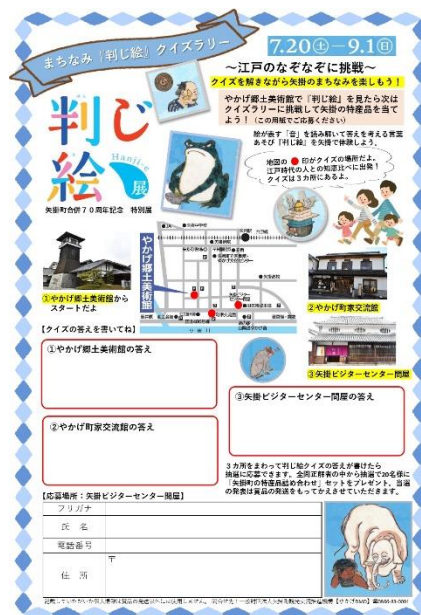
【ブース来場者数】約1,000人



矢掛郷土美術館と連携して矢掛町合併70周年記念 特別展「判じ絵展」のクイズラリーを開催し、町内への誘客を図った。

【クイズラリー応募者数】

約400名



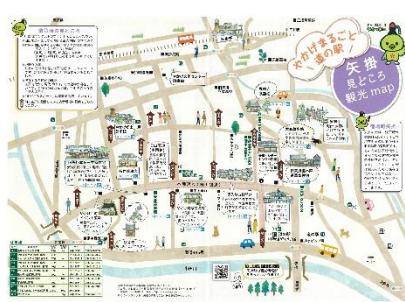
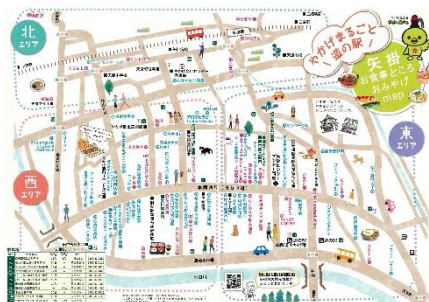
(4) 観光情報誌発行事業

今年度も矢掛町の観光情報を定期的に発信する観光情報誌を編集・発行し広報やかげへの封入，観光施設等への設置を行った。

【発行数】

68,400枚（5,700枚×12ヶ月）

また，例年発行している観光客向けの観光みどころマップ，お食事どころ・おみやげマップを作成し，観光客等へ配布した。



(5) 関係人口獲得事業

関係人口の獲得に向け，水車の里，はなしの里等の町内観光事業者と情報共有を行った。

(6) ガイド育成事業

観光客等へおもてなしや町の魅力紹介を行っている観光ボランティアの会のスキルアップを目的に接遇研修を行った。

【研修参加者】

23名



(7) 観光実態調査事業

矢掛町を訪れる観光客及び観光事業者等に継続してアンケート調査を行い，観光ニーズを分析した。水車の里，やかげ町家交流館，道の駅山陽道やかげ宿にてアンケートを実施した。

【アンケート実施期間】

令和6年4月～令和7年2月

【アンケート件数】 1,540件

2. 観光推進体制強化事業

(1) 町内連携強化事業

水車の里, はなしの里等の町内観光事業者と情報交換会を行った。

(2) 周辺地域連携強化事業

井笠広域観光協会, 井原線沿線観光連盟等の周辺観光事業者との情報交換, 情報共有を行った。

(3) 観光持続化検討事業

当財団の収益強化について検討を行った。

3. 観光受け入れ体制整備事業

(1) 景観美化事業

景観スポット等の景観保持のための美化活動用の清掃用具を購入した。(実施は令和7年度予定)

(2) 観光地周遊手段検討事業

観光スポットの周遊手段について関係各所との打ち合わせも含め, 調査検討を行った。

(3) 町並み景観検討事業

町と連携して, 矢掛商店街を中心とした景観整備について検討を行った。

(4) 観光関連研修会事業

観光事業者の事業継続について備中西商工会等と情報共有を行った。

(5) 空き店舗等利用意向調査事業

矢掛商店街周辺の空き物件等について把握するため備中西商工会等と情報共有を行った。

4. 観光商品開発事業

(1) 宿泊コンテンツ連携事業

宿場町スタイルの観光について, 情報発信を行いながら他事業におけるアンケート調査において宿泊者の割合, 観光消費額等について調査を行った。

(2) 誘客イベント事業

矢掛町の春のイベントとして町民や観光関係団体等と連携し, 花の作品展示や日曜朝市, ステージイベントなどを一体的に開催することで, 矢掛商店街への誘客を行った。花の作品展示には華道団体, フラワーアレンジ教室や地域住民のグループ10団体に参加いただき, 矢掛商店街11カ所で作品展示を行った。また, やかげ西町ステージイベント会場では町内及び近隣から鼓の演奏や太鼓の演奏など, 各種団体に参加いただき会場を盛り上げていただいた。商店街全体の周遊を促進するため別会場(元町)では備中神楽の演舞や矢掛商店街を周遊するスタンプラリーも行った。

【実施日】 令和7年3月23日

【来場者数】 約5,500人



(3) 観光イベント開発事業

はなしの里、吉祥寺との協議を行い、新しい観光コンテンツ（ドラム缶風呂体験・ツリークライミング体験・座禅体験）を開発した。

(4) 地域観光資源開発事業

観光商品開発に係る備品の購入（ドラム缶風呂等）を行った。

(5) 町内企業連携商品開発

矢掛中学校と連携し、中学生がアイデアを考えた商品（町内で出た廃棄野菜を使用したふりかけ）を開発、矢掛中学校のイベントにおいて発表した。（今後の活用については令和7年度に決定予定）



(6) 特産品開発事業

矢掛町の飲食店と連携し、「クリームソーダ」を使った矢掛町のイメージ戦略としてキャンペーンイベント「クリームソーダ IN 矢掛」を実施した。（令和5年に引き続き2回目の開催）

【実施期間】

令和6年4月27日（土）
～6月2日（日）

【参加店舗数】

18店舗

【来訪者数】

約8,500人



また、矢掛町の飲食店と連携し、「さつまいも」を使った矢掛町のイメージ戦略としてキャンペーンイベントを実施した。(令和5年に引き続き2回目の開催)

【実施期間】

令和6年10月29日(火)
～令和7年1月31日(金)

【参加店舗数】

23店

【来訪者数】

約6,500名



また、矢掛町の新たな特産品として矢掛町産のお米を使った日本酒の商品開発事業を行った。(販売は令和7年度を予定)



(7) 夜間商品開発事業

町と連携し、宇内のホテル観賞ツアーコンテンツの試験実施を行った。

5. インバウンド誘客事業

(1) 多言語化事業

やかげ宿と連携しやかげ宿が開催しているインターナショナルフェスティバルにおいてアンケート調査を行い、意見の集約を行った。

(2) 在住外国人連携事業

インターナショナルフェスティバルのチラシ印刷・新聞折込等により情報発信を行った。

(3) インバウンド魅力化事業

矢掛町合併 70 周年記念茶会と連携し、岡山大学の外国人留学生を対象としたモニターツアーを企画実施し、外国人の受入体制の整備、外国人向け観光コンテンツのブラッシュアップを実施した。

【実施日】

令和 6 年 5 月 1 9 日 (日)

【モニター参加者】

1 9 名



6. その他事業

(1) マイクロツーリズム事業

矢掛町合併 70 周年を記念して、町内等の観光施設や体験コンテンツなどを格安で利用できるツアーを企画・募集し、矢掛町の魅力を再発見してもらう機会を創出した。

矢掛町内等を周遊する日帰りのコースやキャンプ・デイキャンプコース、大名行列腰元・近習侍体験コースなど幅広いコースを実施した。

【実施期間】

令和 6 年 4 月 30 日～令和 7 年 2 月 28 日

【コース数】

11 コース

【参加人数】

212 名 (幼児含む)



■収益事業

1. 矢掛ビジターセンター管理・活用事業

矢掛ビジターセンター問屋の指定管理を受託し、施設の維持管理を行うと共に道の駅と連携した情報発信や観光客を商店街へ誘客した。

【令和6年度年度来場者数】 31,366人

2. 視察受入事業

アルベルゴ・ディフーズや古民家再生事業にまるごと道の駅や重伝建選定による観光の取組への視察受入対応を行った。

視察受入件数：6件（うち有料視察受入：3件）



3. CLS プログラム受入事業

米務省「重要言語奨学金（CLS）プログラム」（国家安全保障や経済発展の観点から重要な役割を果たす人材の養成を目的とした米務省が実施しているプログラム）の派遣先である岡山大学からの依頼を受け、外国人留学生 25名の受入を行った。

体験メニューについては下記の通り。

- ・ 矢掛の町歩き（本陣・石井醤油店見学）
- ・ 矢掛屋でランチ
- ・ 備中神楽見学
- ・ 矢掛高校生と交流
- ・ 桃源郷はなしの里でピザ作り体験・かき氷・流しそうめん・スイカ割り

